

データは新たな社会インフラになれるのか？

～スマートモビリティプラットフォームの構築に向けて～

2026年
8/25
(火)

都市や地域の移動を支えるスマートモビリティは、いま大きな転換点を迎えています。交通・人流・まちづくりに関わる多様なデータをどのように連携し、社会全体で活用していくのか。その仕組みは、道路や鉄道、通信網と同じように、これからの社会を支える新たなインフラとなり得るのでしょうか。

本シンポジウムでは、スマートモビリティプラットフォームの構築の鍵となる、データガバナンスとデータスペースに関して、専門家・実務者とともに課題と展望を議論します。

お申し込みは
こちらの
フォームより



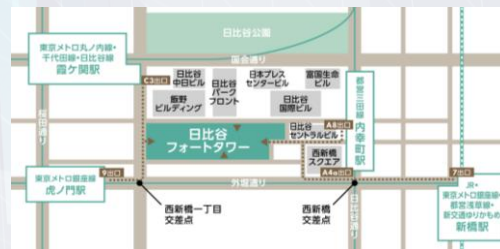
<https://forms.office.com/r/vgvsQuyK4Q>

時 間 | 14:00～17:20 開場 13:30 / 交流会 17:30～

場 所 | 日比谷スカイカンファレンス RoomB
東京都港区西新橋1丁目1-1 日比谷フォートタワー 11階
Zoom配信あり 日英同時(逐次)通訳

参加費 | 無料 (交流会費別途)

主 催 | IBS 一般財団法人 計量計画研究所
The Institute of Behavioral Sciences



霞ヶ関駅(C3出口 徒歩2分) 虎ノ門駅(9番出口 徒歩3分)
内幸町駅(A8出口 徒歩3分) 新橋駅(日比谷口 徒歩8分)

プログラム

14:00～ 開会挨拶

14:10～ ITF共同研究成果報告

データは新たな社会インフラに
なれるのか

14:40～ HINTリーダーセッション

リ・デザインとデータガバナンス
の実装に向けて

フィリップ クリスト

(International Advisory Boardメンバー)

兼 OECD国際交通フォーラム イノベーション・フォーサイト担当 シニア・アドバイザー

(進行) 中村 文彦 (サブプログラムディレクター(SPD) / 放送大学 教養学部 教授)
(登壇) 星 明彦 (国土交通省 総合政策局 モビリティサービス推進課 課長)
藤原 章正 (広島大学 大学院先進理工系科学研究科 特任教授・名誉教授)
森川 高行 (名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 特任教授・名誉教授)
谷口 綾子 (筑波大学 システム情報系 社会工学域 教授)
牧村 和彦 (一般財団法人 計量計画研究所 常務理事)
フィリップ クリスト (IABメンバー 兼 OECD国際交通フォーラム)

15:50～ ディスカッション

リ・デザインとデータスペース
の実装に向けて

(進行) 石黒 祥生 (サブ課題担当プロジェクトマネージャー(PM) / 東京大学 大学院情報学環 准教授)
(登壇) 越塚 登 (サブプログラムディレクター(SPD) / 東京大学 大学院情報学環 教授)
有吉 亮 (サブ課題担当プロジェクトマネージャー(PM) / 名古屋大学 未来社会創造機構 特任准教授)
内山 裕弥 (宮崎県 総合政策部 総合交通課 課長)
フィリップ クリスト (IABメンバー 兼 OECD国際交通フォーラム)

17:00～ 閉会挨拶